　熊野古道は、紀伊　半島南部にある熊野と伊勢や大阪、和歌山、高野そして吉野とを結ぶ古い街道の総称で、「熊野街道」とも呼ばれています。

　熊野古道には伊勢と熊野速玉大社（くまのはやたまたいしゃ）を結ぶ伊勢路、その伊勢路の花の巌（はなのいわや）から分かれて熊野本宮大社に向かう本宮道のほか、大阪から和歌山を経て熊野に至る紀伊路は田辺で熊野本宮に向かう中辺路（なかへち）と、そのまま紀伊半島を海岸線沿いに那智へ向かう大辺路（おおへち）、高野山から熊野本宮へと向かう小辺路（こへち）、吉野から熊野本宮へ向かう奥駆道（おくがけみち）とも呼ばれる大峯道などいくつかのルートがあります。

「熊野古道」は、伊勢から熊野へと聖地を結ぶ祈りの道なのです。